

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1601 号

Expression of Interleukin (IL)-1 receptor I and IL-1 receptor accessory protein in the pregnant rat myometrium at late gestation

(妊娠後期でのラット子宮筋における IL-1 receptor I および IL-1 receptor accessory protein の発現)

石黒 共人 (いしぐる ともひと)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本研究では、Interleukin-1(IL-1)の分娩発来機序における役割を検討するために、IL-1 receptor (IL-1R) I、IL-1R II、IL-1R accessory protein (IL-1RAcP)、さらには中枢神経特異的に発現すると考えられている brain-dominant IL-1RAcP について、ラット子宮筋における発現を mRNA レベルで測定した。その結果、IL-1RI、IL-1RAcP の mRNA 発現量が妊娠後期に分娩に向かって増加することを示し、さらに、この増加は progesterone antagonist である RU486 投与により誘発され、一方で progesterone 投与によって阻害されることを示した。また、これまで、中枢神経特異的に発現すると考えられていた brain-dominant IL-1RAcP が妊娠後期の子宮筋において増加が認められたことも明らかにした。従来、IL-1 が分娩発来機序に重要な役割を果たしていることは知られているが、これまで報告のなかった、子宮筋での IL-1RI および IL-1RAcP、さらには brain-dominant IL-1RAcP が妊娠後期に増加を示したことは分娩発来機序の解明に意義あるものとする。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものとして判定した。